

働き方に関するアンケート調査報告書

2012年5月18日

ニフティ労働組合

働き方に関するアンケートの概要

調査目的: ①例年のアンケート結果と比較して大きな変化がないか確認
②移転に伴い働き方、労働環境の変化がないか確認

- ・調査対象:全組合員
- ・調査手法:Webアンケートフォームによる選択式および自記式アンケート
- ・調査期間:2012年2月10日(金)～2012年2月24日(金)
- ・回答者数:182名(組合員全体の36%)

・回答者内訳:	ISP事業部	:17名	サービス事業部	:3名
	クラウド事業部	:19名	サービスプラットフォーム統括部	:19名
	シュフモ事業部	:8名	IT統括部	:26名
	ソーシャル事業部	:10名	カスタマーサポート統括部	:21名
	メディア事業部	:23名	直轄組織	:36名

アンケート結果概要

調査結果1：昨年度実施したアンケートと比較し、大きく変化はしていない。

調査結果2：残業時間は全体的に減少傾向。ただし部署により、残業時間が多い、減少傾向が顕著などの偏りはある。

※5ページ、13ページを参考

調査結果3：目立って多いとまでは言えないが、特に休憩時間の業務は申請せず行うという方がまだいる状態。

※10ページを参考

調査結果4：移転に伴い、通勤時間が長くなり、残業時間が減った方もいる。

※6ページを参考

組合見解

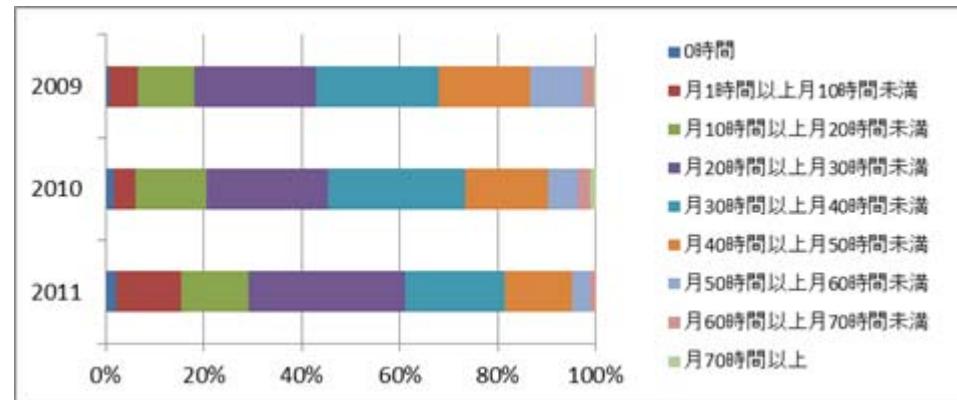
本アンケートの結果を受けて労働対策チームを中心に議論し、組合としての見解を以下にまとめます。

- 昨年度と大きく変化している内容は見受けられず、サービス残業も目立って行われている様子もない。
- 残業時間をコントロールするには、部署全体での働きかけが有効と思われる。特に残業時間が多い部署での働きかけをお願いしたい。
- ツールが変わったためか若干は減少したが、まだ「申請のルールが複雑」といった理由で休憩時間、休日、夜間の勤務申請をしていない方が見受けられる。改めて申請方法の啓蒙をお願いしたい。
- 移転に伴い、働き方に大きな変化はなかった。一部、健康管理に直結するような意見については、改善をお願いしたい。

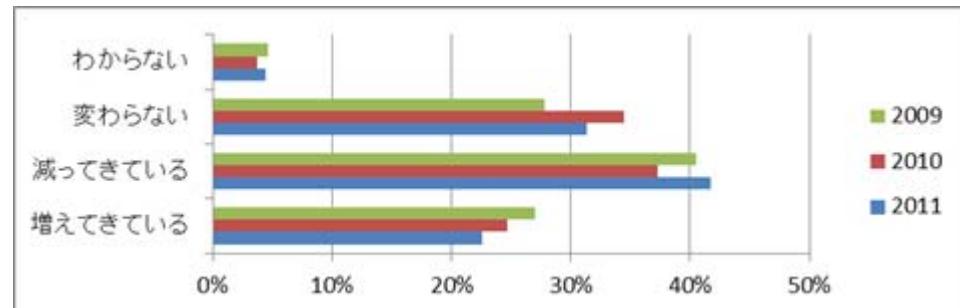
以上を労使協議などの場を通じて会社側に共有いたします。

残業について伺います。(残業時間)

Q1.あなたの直近1年の残業時間は月平均でどれくらいですか？



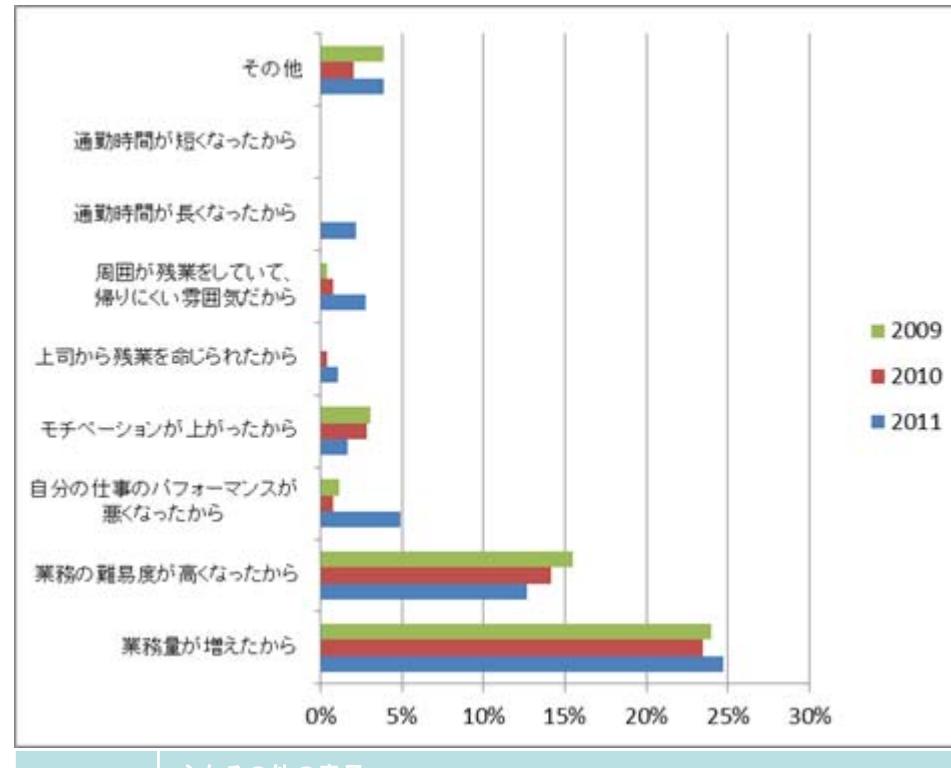
Q2. 2010年度と現在を比較して、あなたの時間外労働時間はどのような傾向にありますか？



時間外労働時間に関して自覚している傾向はほぼ変化が無いが、実際には2年連続で減少傾向が続いている。

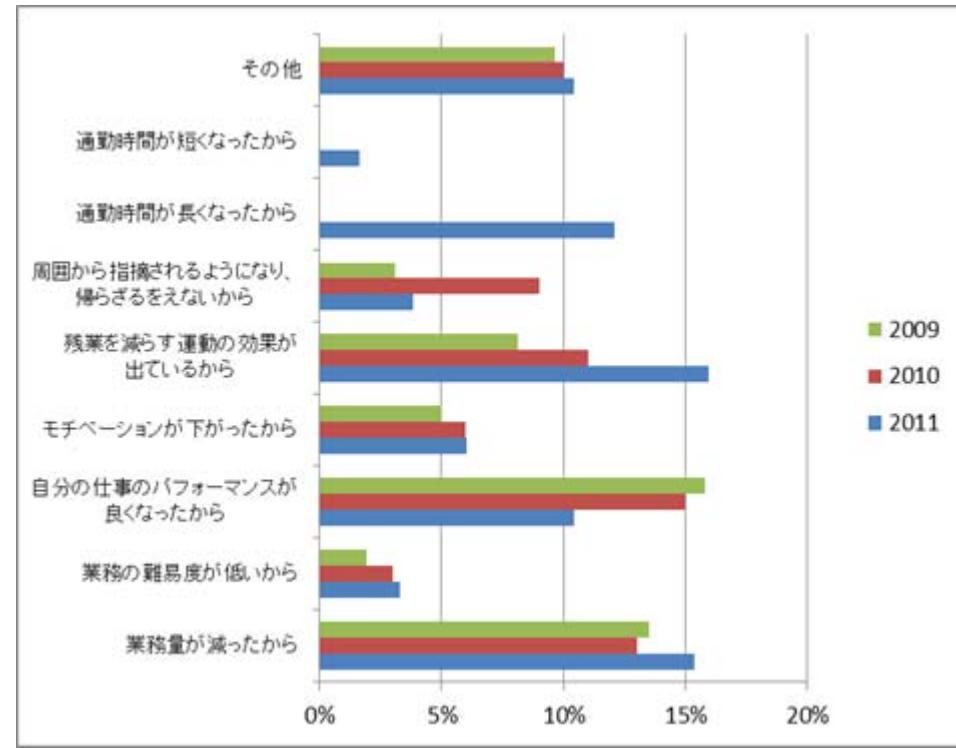
残業について伺います。(残業時間変化の理由)

Q3. Q2の質問で、「増えてきている」と答えた方にお聞きします。
あなたの残業時間が増えていると感じる理由はなんだと思いますか？



主なその他の意見	
人員不足	■チームの主要メンバーが異動したため。その後の増員は無い。
L3エリア	■L3へのファイル移動申請にはじまって作業者もフロア移動をしなければならず、今まで10分で終わっていたことが30分以上かかってしまいます。

Q4. Q2の質問で、「減ってきている」と答えた方にお聞きします。
あなたの残業時間が減っていると感じる理由はなんだと思いますか？



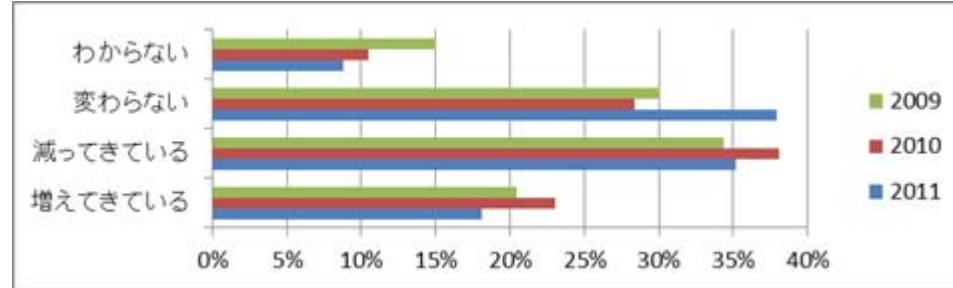
主なその他の意見	
工夫	■残業時間を増やさないように業務を工夫している
自宅	■業務量は増えたけど、残業することができないため(家で作業するしかない) ■昼休憩・夕方休憩をとらずに業務遂行。

残業時間が増えてきた要因は例年からほぼ変化無し。

減ってきた要因は、「残業を減らす運動の効果」が2年連続伸びて最多になった他、オフィス移転後のアンケートということもあり
「通勤時間が長くなった」も多い傾向であった。少数ながら自宅で業務を行う方もおり、申請もしていない模様。

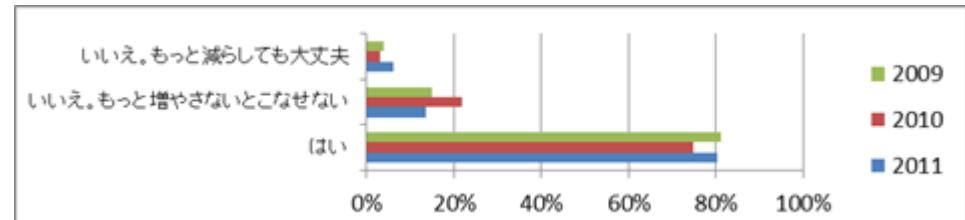
残業について伺います。(周囲の残業時間、自身が考える残業時間)

Q5. 2010年度と現在を比較して、あなたの周りの残業時間はどのような傾向にあると感じていますか？

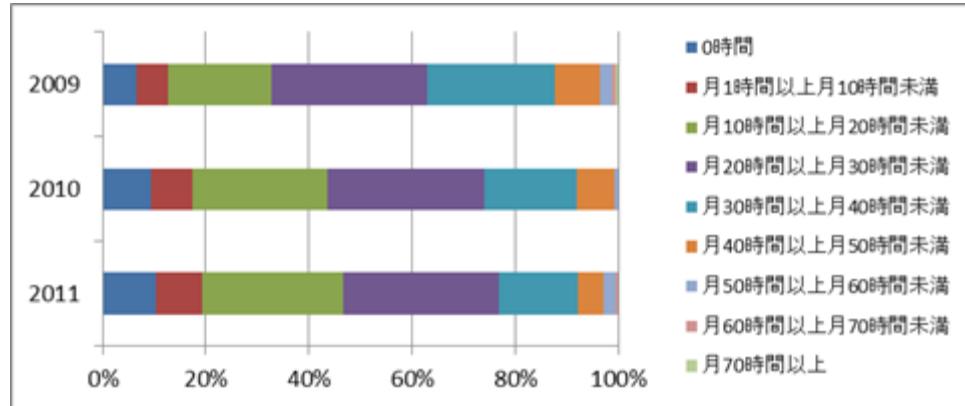


大きく増えた、減ったということではなく、あまり変化は無い模様。

Q6.あなたの、残業時間と含む労働時間は、担当業務をこなすのに必要な時間だと思いますか？



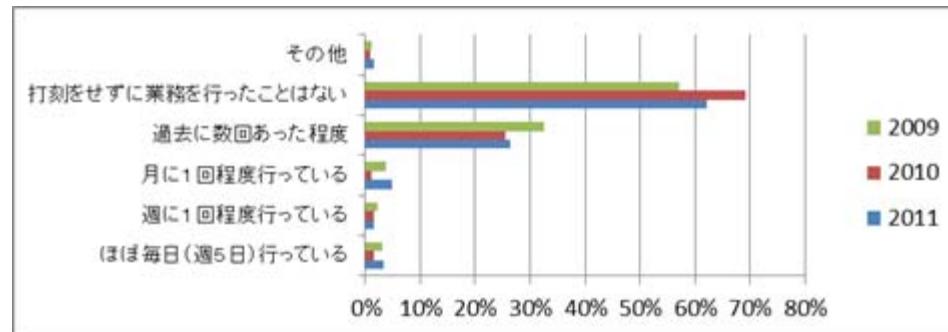
Q7.あなたは、どのくらいの残業時間が適切だと思いますか？(現在の業務量とは関係なくお考えください)



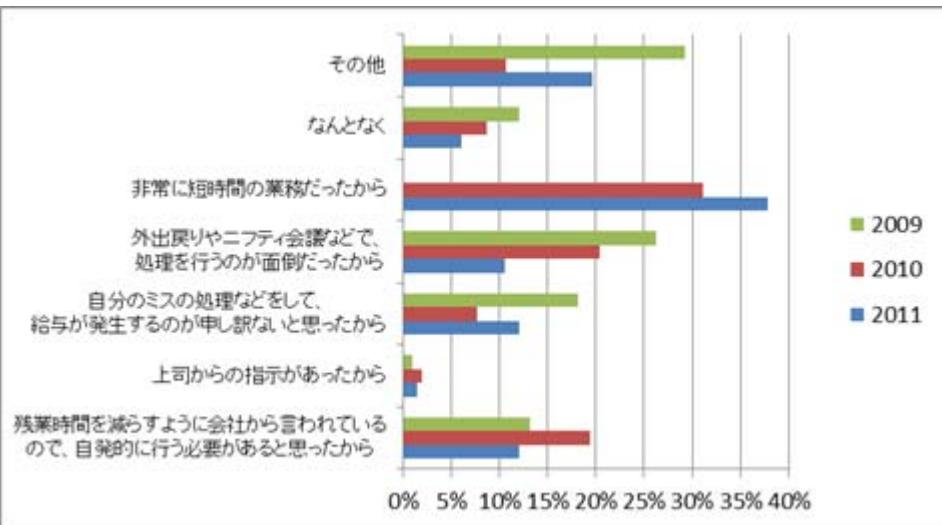
実際の残業時間に連動してか、適切と考える残業時間も2年連続で減少傾向が続いている。

残業について伺います。(サービス残業)

Q8.あなた自身は、通常業務の際、打刻を行わずに業務を行うことはありますか？(後日、打刻修正を行う場合は除く)



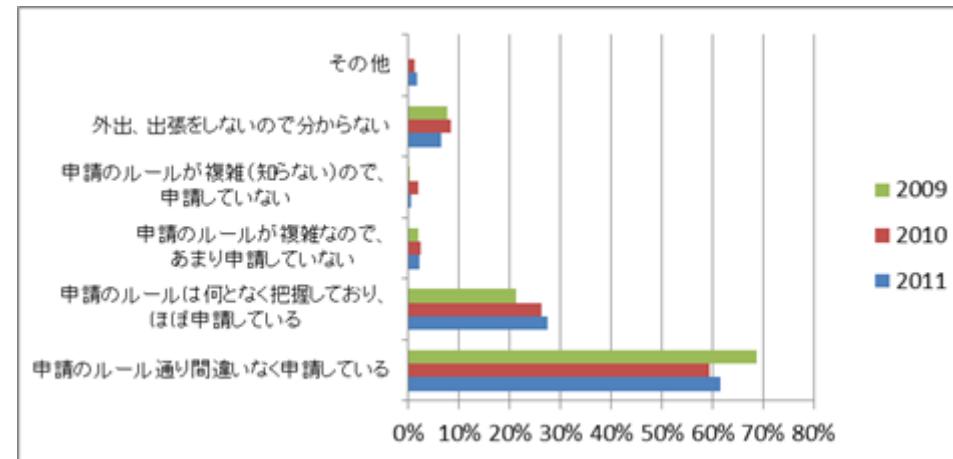
Q9. Q8の質問で、あると答えた方にお聞きします。それはなぜですか？



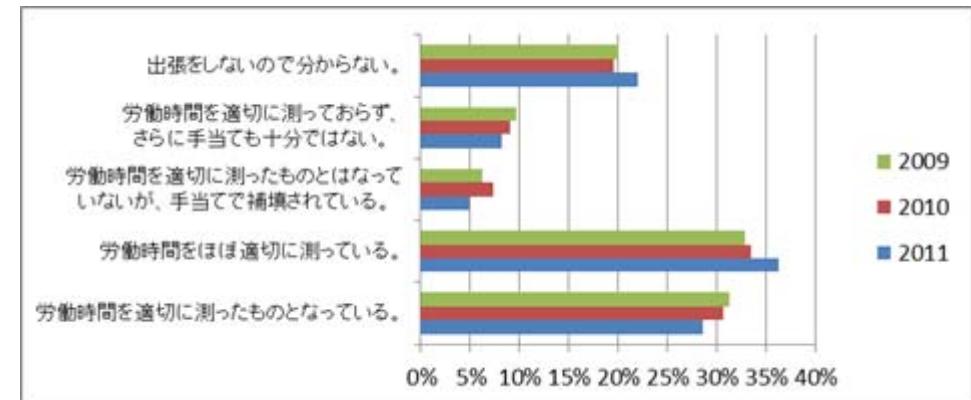
大きな変化はないが、「処理が面倒」という理由で打刻を行わなかったという方の数が、2年前から半減している。

出張についてお伺いします。

Q10.あなたは、外出、出張の際に労働時間を正しく申請していますか？



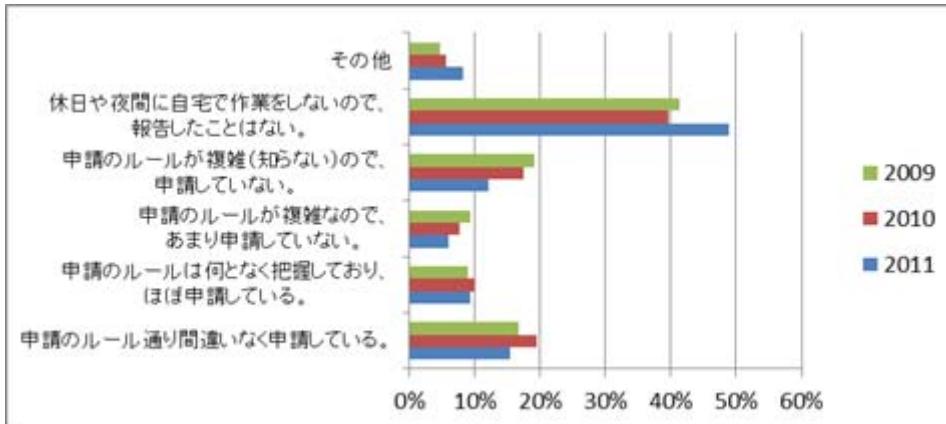
Q11.あなたは、出張中の労働時間の算定基準は、勤務の実態に合っていると思いますか？(移動時間を含みます。)



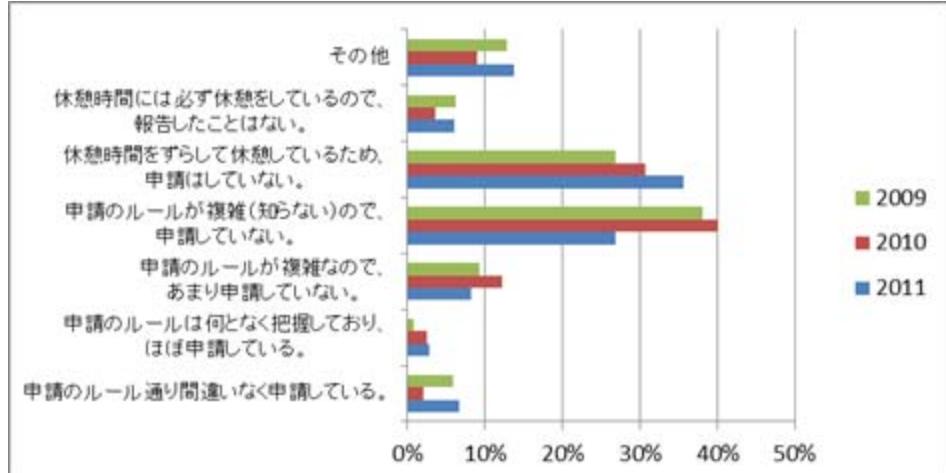
例年からあまり変化無く、ほぼ正しく申請されている。

休日・夜間、休憩時間勤務についてお伺いします。

Q12.あなたは、監視対応等で休日や夜間に自宅で作業をした際、労働時間を正しく申請していますか？



Q13.あなたは、会社指定の休憩時間に休憩できなかつた際、労働時間を正しく申請していますか？



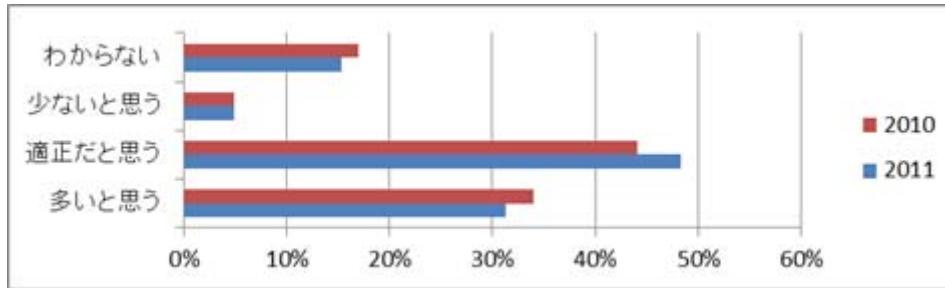
主な理由	
霧 囲 気	<ul style="list-style-type: none"> ■17:45～18:15に休憩する文化が無い(一部休憩してゐる者を批判する者もいる状況) ■とても申請できる霧囲気でもないし、休憩できる霧囲気でもない。 ■上司が過敏に反応するのでない
自 主 的 に	<ul style="list-style-type: none"> ■会社的には休めと言つてゐるわけだし、自主的にやつてゐるため申請をしたことがない。 ■残業したくないという理由なので申請していない。

休日・夜間については、多少は減ったものの申請していない人がまだ2割弱いる状態。

休憩時間については、例年に比べて正しく申請する方の割合が増えたが、それでもまだ3割強は申請せず勤務している。
フリーアンサーでは、周りの霧囲気や上司を理由に挙げる声がある。

長時間残業対策についてお伺いします。(36協定)

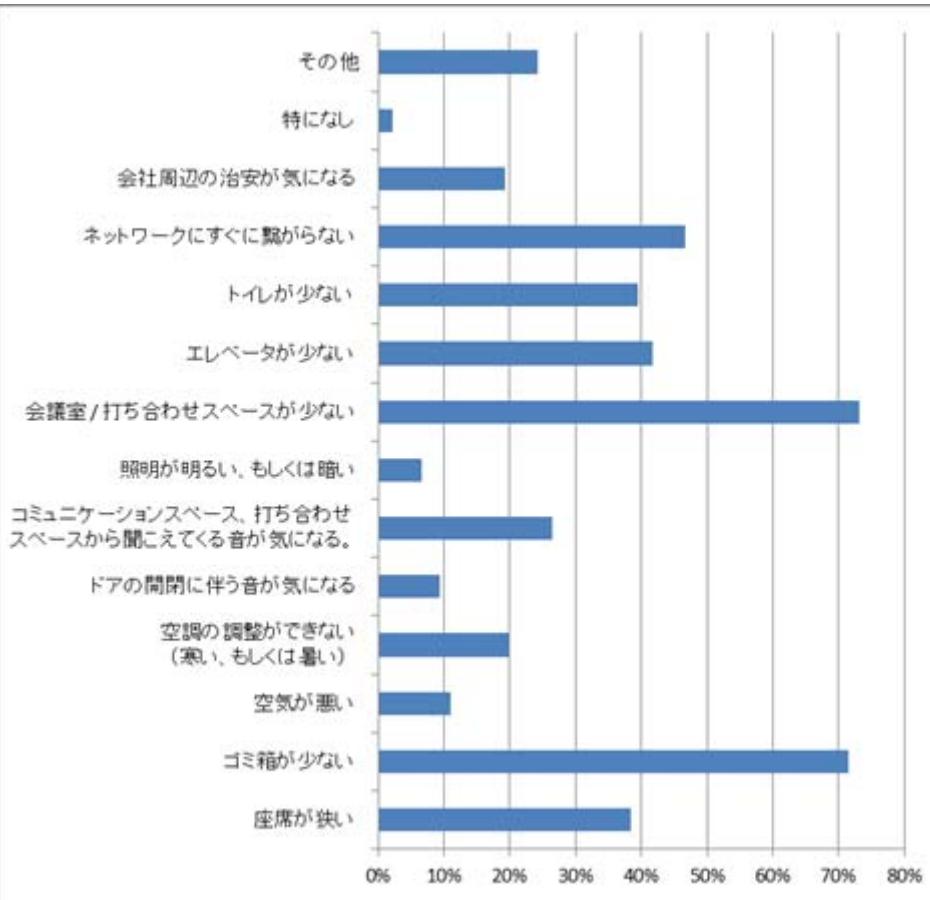
Q14. 36協定で、年間の最大時間外労働時間は780時間に設定されています(月平均にすると65時間)。これについてどう思いますか?



大きな変化はない模様。

オフィス移転についてお伺いします。

Q15.現在、新オフィスでの労働環境において困っていることはありますか？



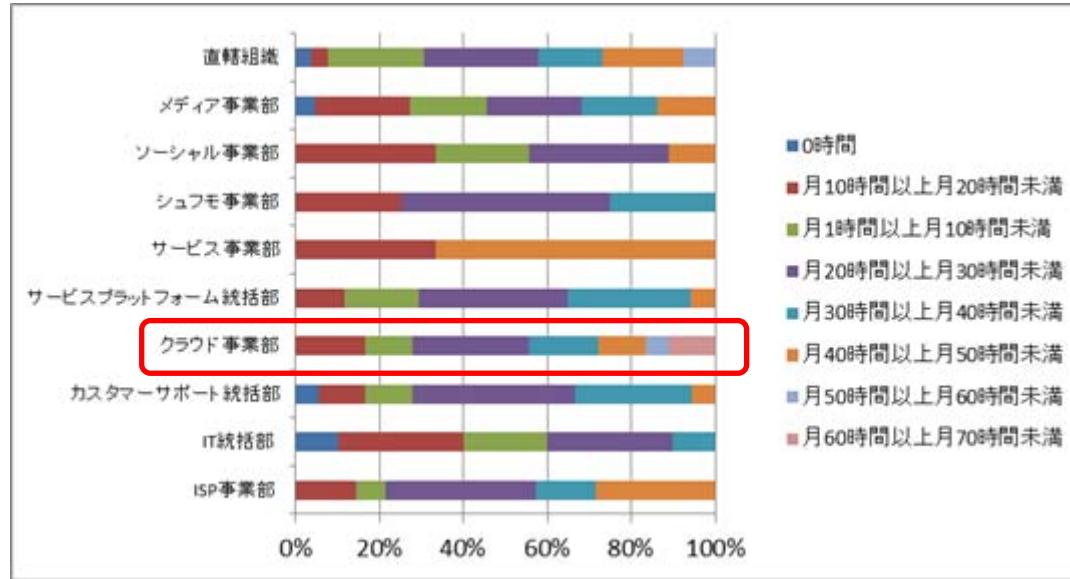
主なその他の意見	
湿度	<ul style="list-style-type: none"> ■湿度は50%を保つようビルと調整して欲しい。必要なら改修も。 ■空気が乾燥しているため、インフルエンザなどの感染が心配。
L2 エリア	<ul style="list-style-type: none"> ■L2エリアに飲料が持ち込めない、L2エリアに携帯電話が持ち込めない(緊急地震速報、家族からの連絡など)
ロッ カー	<ul style="list-style-type: none"> ■ロッカーが別の階にあり不便。 ■パーソナルロッカーが遠い、日用品をパーソナルロッカーまで都度取りに行くのが面倒

総務部のアンケートと大きな違いは無い結果だったが、L2エリアでの飲料等の扱いは会社に改善を求めていく。

クロス集計結果 残業時間×所属部署

全体的には残業時間は減少傾向であるが、所属部署により格差がないか調査するためクロス集計を行った。

Q1残業時間×所属部署



※一時的な事象と思われるオフィス移転の影響を除くため、Q0「残業時間に影響するような、会社の移転業務に携わっていましたか？」で「携わっていなかった」という方のみを対象とした。また、サービス事業部は回答者が少ないので、考察からは除いた。

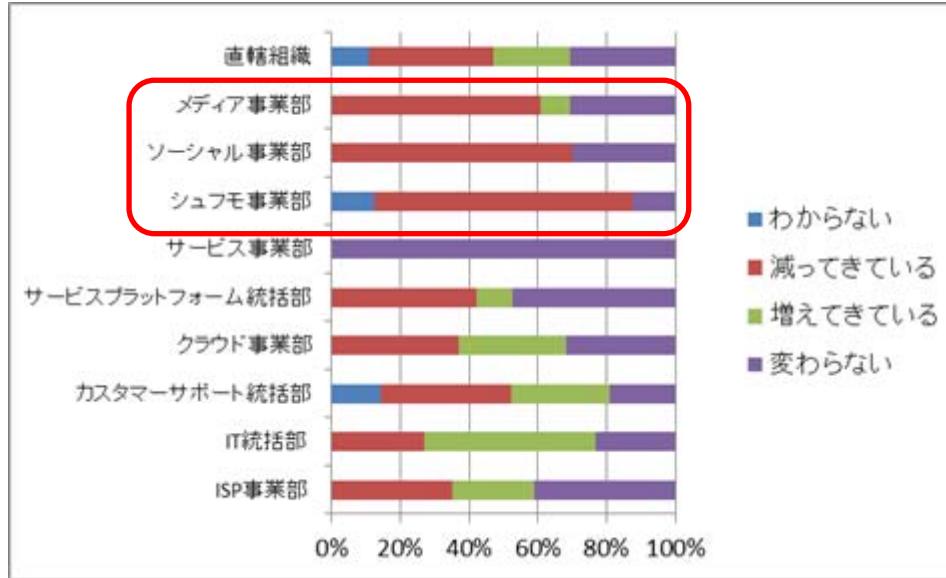
部署によって残業時間に差がある模様。

特にクラウド事業部は他部署と比較して多めとなっているが、次ページ左側の残業時間の傾向のグラフでは他部署と大きく違いがないため、昨年度から残業時間が多い状態が解消できていないことが分かる。

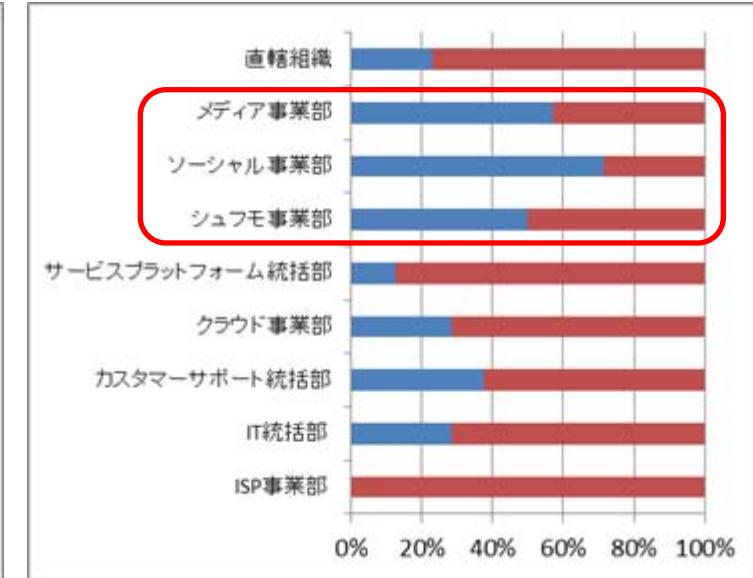
クロス集計結果 残業時間の傾向×所属部署

残業時間が減少する要因をもう少し詳細に探るため、部署ごとにクロス集計を行った。

Q2残業時間の傾向×所属部署



Q4残業時間が減った理由「残業を減らす運動の効果」の割合



※一時的な事象と思われるオフィス移転の影響を除くため、Q0「残業時間に影響するような、会社の移転業務に携わっていましたか？」で「携わっていなかった」という方のみを対象とした。また、サービス事業部は回答者が少ないので、考察からは除いた。

左の図から分かる残業時間が減ってきていると答えた割合が大きい部署においてその要因を見てみると、右の図の通り「残業を減らす運動の効果」を理由に挙げている割合も大きいことが分かった。

おわりに

多くの組合員の皆さんに働き方に関するアンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

本アンケートにお寄せいただいた組合員の皆さんとの声をもとに、我々労働組合がまとめた意見(4ページ)を労使協議や安全衛生委員会などの場で会社側と共有し、より良い職場環境になるように努めていきたいと思います。

この調査報告書についてご意見やご感想があれば、どんな些細なことでも結構ですので、労働組合までお寄せください。組合員の皆さまの職場環境の改善、ひいてはニフティ株式会社をより良くするため、今後ともご協力のほど、何卒よろしくお願ひいたします。

ニフティ労働組合